

やまくら通信

木々の色付きが秋らしくなってきました。「朽葉色（くちばいろ）」という伝統的な色名があるそうで、昔の人々はこの時期の微妙な色の変化を表現していたようです。子どもたちにも、環境の中で変化していく色について感じてもらえたらと思います。「読書の秋」「実りの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」、さまざまな「〇〇秋」という表現もあります。ぜひ、皆さまの「〇〇秋」を教えてください。

発達支援研究所 山本所長より

これまでの発達障がい児・者に対する支援は、どうしても「定型発達者の基準に近づけるように頑張らせる」というスタイルが中心でした。

けれども世界的な動向を見ても、こういう考え方はもうかなり時代遅れになってきていることも明らかです。

たとえば有名な国際的企業は、すでに「過集中」とか「こだわり」等と否定的に見られている「障がい特性」を、むしろ積極的にその人の大事な能力として、それを仕事に活かすような人材発掘のしくみがかなり広がっています。

日本でも中企業のある工場でこんな話がありました。「前田鉄工所はコミュニケーション能力を求めない「コミュカゼロ採用」に取り組んでいる。自動車や建設機械、農業機械のトランスミッションとバルブなどの油圧部品を手がける同社では「口下手でも、コツコツと真面目に仕事に取り組む人材が大切」

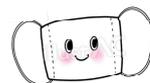
（前田基樹社長）だからだ。

(<https://news witch.jp/p/33553>)

その子の特性に合った、その子が主体的に生きる人生を同サポートしていくか。それがこれからの発達障がい支援の核になります。



ご協力下さい



コロナ対策のために、ご協力をお願いいたします。今後は、ご持参いただいたペンまたは印鑑で、出席確認のサインをお願いいたします。



3密にならないように、フィードバックに関しましても、引き続き短くお伝え



しております。時間を取って最近の支援



についての話を聞きたい方や学校や家庭のこの相談がある方は、日時についてスタッフまでお声がけください。



素材は不織布マスクが、最も高い効果を持っていることから、肌触りが苦手な方もおりますが、無理のない範囲で、可能な方は感染防止効果を高めるため不織布マスク着用をお願いいたします。引き続き、クラ・ゼミでも十分な感染症対策を行った上で支援をさせていただきたいと思っております。



まめ知識

十五夜(中秋の名月・芋名月)に飾るススキは、穂の出たすすきを稲穂の代わりに飾ります。また、古くからススキは神様の依り代と考えられており、悪霊や災いなどから収穫物を守り、翌年の豊作を願う意味が込められています。一緒に供える団子は、お供え物を体に取り入れることにより、健康や幸せを得ることが出来ると考えられています。月を見上げて、名月の美しさを感じてみましょう。



こどもサポート教室「クラ・ゼミ」山形

錦町校 023(674)0300 南栄校 023(674)6577 天童校 023(665)5611
松波校 023(666)3344 寒河江校 0237(84)6226

営業日:月曜日～土曜日

営業時間:10:00～19:00

